

第3回「ちば講座アワード」開催要項

1 趣旨

県内の社会教育施設や大学、団体などが行っている生涯学習講座の中から、特色ある地道な取組に焦点を当て（講座アワード）、その一粒の輝きを、多くの県民や各団体組織の方々に周知することで、一層輝き、さらに広がっていくことを目指す。

また、各団体組織により、生涯学習推進に向けた取り組み度合いには大きな差がある。この現状を踏まえ、特色ある活動事例の紹介を行う場（おすすめ講座）を「千葉県生涯学習情報提供システム（ちばりすネット）」上に設けることで、県内の生涯学習のさらなる推進の一助とする。

2 目的

＜おすすめ講座＞

- ・特色ある活動事例をちばりすネット上に掲載することで、各団体組織の事業周知を図る。
- ・他団体組織の取組に目を向けることで刺激を受け、自己の取組を見直し、改善促進することで各団体組織の講座運営能力の向上に繋げる。

＜講座アワード＞

- ・優れた取組を互選し表彰することで、各団体組織の意欲付けを図るとともに、他の模範となるようにする。
- ・他団体組織からの評価コメントを得ることで、客観的な事業評価となり、今後の改善に繋げることができる。

3 主催

さわやかちば県民プラザ

4 参加対象

県内にある以下の機関及び団体

各市町村各課、社会教育施設（公民館、図書館、博物館等）、生涯学習関連機関、大学、大学院、短期大学、高等専門学校及び専門学校（農業大学を除く） 等

※ちばりすネットへの会員登録は問わない

5 日程および内容

4月末 開催要項等発送

～10月22日

各団体組織の「おすすめ講座」提出期間、アワードエントリー期間
ちばりすネットに各団体組織の「おすすめ講座」を掲載

～12月17日

アワード実施報告提出期間（PDFファイル）

12月末～1月中旬

アワード投票期間（1登録につき、部門別・カテゴリ別に1票を投票）

1月下旬 特別賞審査

2月中旬 アワード結果発表（ちばりすネットにて）

参加団体組織に、他団体組織からの投票理由をフィードバック

3月6日 第3回ちば講座アワード表彰

6 おすすめ講座

- (1) 対象の機関及び団体に、令和3年1月から令和3年12月に実施予定のおすすめ講座の情報提供を依頼する。その一覧をちばりすネットに掲載し、県民の生涯学習の推進および、団体組織の事業促進を図る。(複数登録可)
- (2) 様式は別紙参照(様式1)

7 アワード(任意参加)

(1) 参加について

おすすめ講座に登録した講座から、1団体組織につき1講座をエントリーする。

条件・年3回以上若しくは3年以上、継続的に実施している、又は実施予定と
している講座

- ・アワード対象となる講座実施期間：令和2年1月から令和3年12月
※第2回の審査が行えなかったため、今回は令和2年1月からを対象とする。
※第2回でエントリー済みの団体は、再度エントリーする必要はない。ただし、令和3年の講座に変更する場合は、変更届け(様式2)を提出する。
- ・自薦によるエントリーの他、教育事務所社会教育主事等からの他薦によるエントリーも可とする。
- ・第1回と同じ講座でアワードに参加している場合は、変更点を必ず明記する。

(2) 参加部門

ア 施設団体部門

各市町村各課、社会教育施設(公民館、図書館、博物館)、各社会教育機関
エントリー講座に最も適したカテゴリを、以下から選択する。

- ① 体験活動 ② 連携 ③ 人材育成

イ 高等教育機関部門

大学、大学院、短期大学、
高等専門学校及び専門学校(農業大学を除く) 等

(3) 実施報告

エントリーした団体組織は、実施報告書(A4一枚PDF形式、様式自由)をさわやかちば県民プラザ事業振興課へ提出する。

必要事項：講座のねらい、講座の様子(写真等)、参加者の声、成果と課題

※連携カテゴリにエントリーした講座は、「連携先」についても記載

※実施報告書提出時に、エントリーシートを加筆修正してもよい。

(4) 入選審査

ア 審査方法

おすすめ講座を登録した団体組織が、アワードエントリーした講座の中から、オンラインで投票（高等教育機関部門は1票、施設団体部門は各カテゴリ別に1票ずつ）を行う。投票数に応じて、高等教育機関部門、施設団体部門は各カテゴリ別の入選講座をそれぞれ（3～5講座）を決定する。

イ 審査基準 各部門、各カテゴリの講座として、特色ある取組であるか。
ただし、自団体がエントリーした講座への投票はできない。

(5) 特別賞審査

ア 審査方法

入選講座の中から、審査委員がメール等を活用して個々に審査し、その集計結果をもとに特別賞を決定する。

イ 審査基準

各部門、各カテゴリの講座として、他の模範となるものであるか。

観点 ①企画に独自性があるか

＜ポイント＞ 地域住民目線、先見性、参加者の声 等

②企画に広がりや発展性があるか

＜ポイント＞ 人づくり地域づくり、継続性、ボランティア活用 等

(6) 表彰

次の特別賞を設ける。（賞状）

- ・ さわやかちば県民プラザ所長賞
- ・ 千葉日報社長賞
- ・ 千葉県公民館連絡協議会長賞
- ・ 千葉県私立大学短期大学協会会長賞
- ・ 千葉県社会教育委員連絡協議会長賞

(7) 特別賞審査委員

千葉県教育庁教育振興部生涯学習課長、さわやかちば県民プラザ所長、
千葉日報社長、千葉県公民館連絡協議会長、千葉県私立大学短期大学協会会長
千葉県社会教育委員連絡協議会長

(8) 発表

入選講座については、ちばりすネット内で紹介する。